

35. IPMA の運営は、何事も “身のほど” でやっています

日本アイール社は 1974 年に創立しました。小さな会社であっても社会に必要とされる会社になること、お世話になっている特許業界へ少しでも恩返しすることを目標としてきました。その一環として、1990 年に知的財産活用研究所を立ち上げました。当研究所が、これまで発信してきた知財関連の研究レポートや教材をネットで公開する場として、2016 年に IPMA アカデミー (IPMA) を立ち上げました。大きなことはできませんが、IPMA アカデミーは、あくまでも身の丈にあった “身のほど” での運営を心がけて参ります。よろしく御願います。

1. とりあえず役にたつことを喜ぶ

大したことは出来ないが、お役に立つことがあれば喜ぶ

2. 正しいことを見失わない

何が正しいかを絶えず “考えて、考えて、考え続ける”

3. 決して無理強いほしない

人は立場が違えば考えも違う、こちらの考えを押し付けない

4. 人は様々、腹は立てない

どんな批判をされようと、意見として謙虚に聞く

5. 人とのご縁を大切にしたい

人のゴツタ煮こそ、いい味が出る

6. 何事も “身のほど” を超えない

目先の利益に囚われず、足を踏み外さない



発明くん地蔵